

2011年3月期第3四半期 決算公表参考資料

三井物産株式会社
2011年2月3日

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいませようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

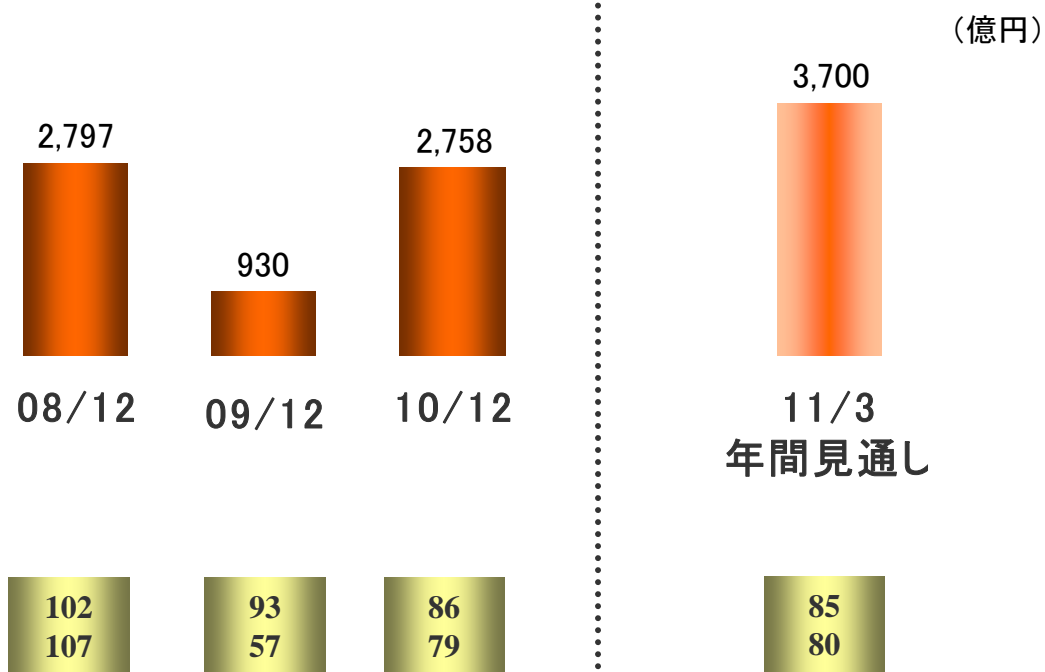
2011年3月期第3四半期決算 業績概要

世界経済は先進国における失業率の高止まりに懸念を残すが、新興国主導による緩やかな回復を維持。

✓ 第3四半期累計の純利益は、資源・エネルギー価格の回復を主因に、前年同期比197%増の1,828億円の増益。
全てのセグメントが黒字化し、前年同期比増益。

✓ 第3四半期単独の純利益は、当第2四半期比で119億円の増益。

■ 四半期純利益(三井物産(株)に帰属)※



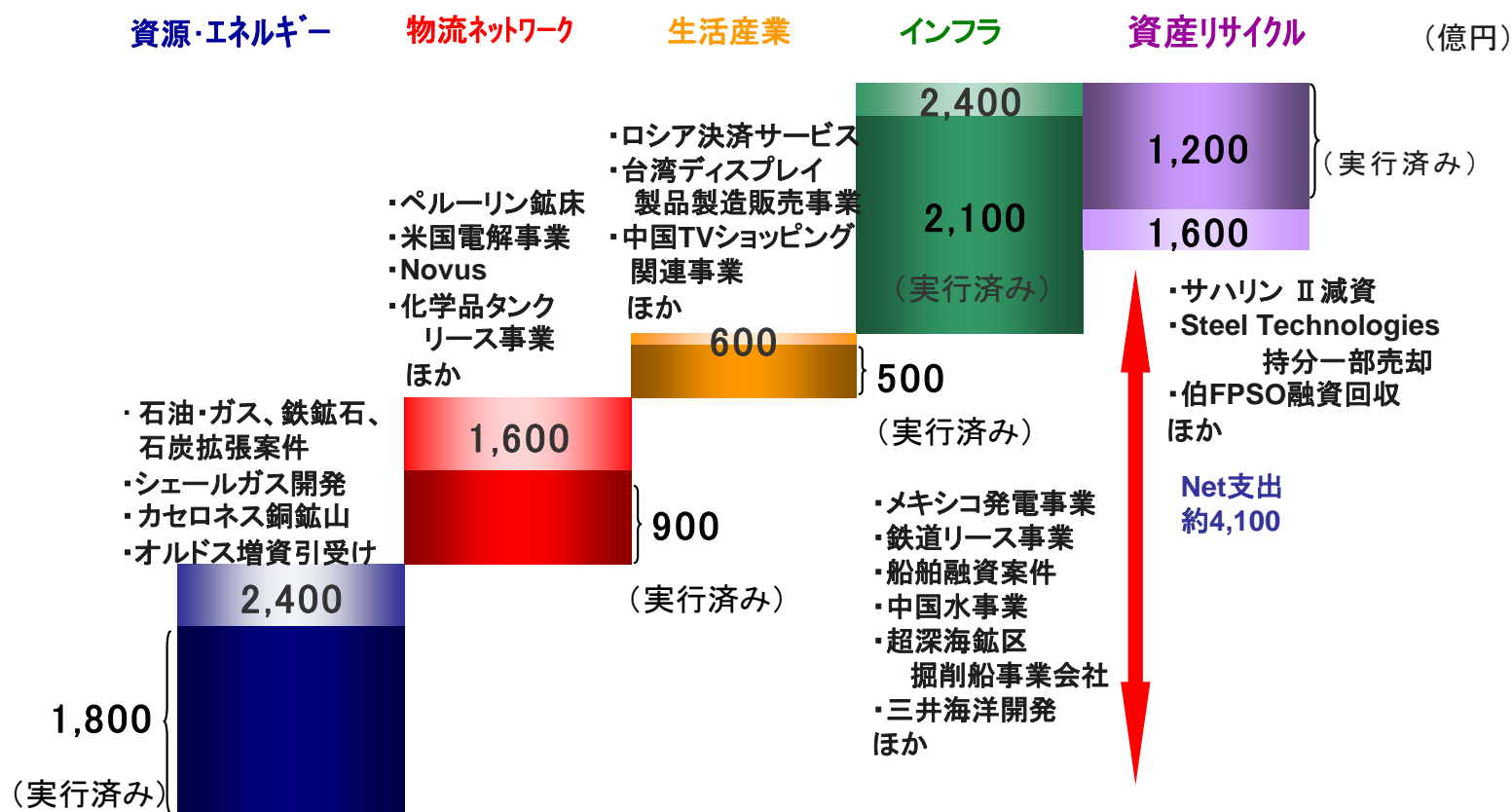
為替 (¥/US\$)	102	93	86
油価/JCC (US\$/bbl)	107	57	79

※本資料では次頁以降「四半期純利益(三井物産(株)に帰属)」を「四半期純利益」と表記しております。

投融資計画の進捗

2011年3月期 投融資計画 : 7,000億円

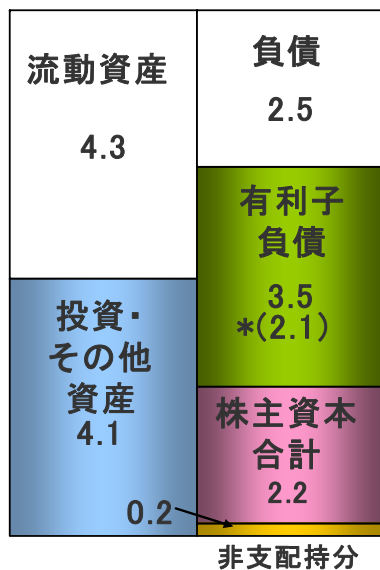
2011年3月期 第3四半期累計実行分 : 5,300億円



バランスシート、キャッシュ・フロー

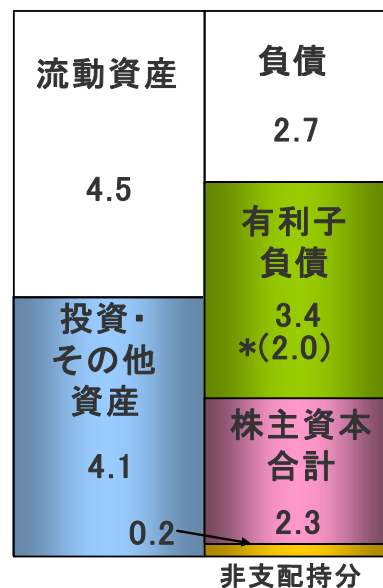
バランスシート

(兆円) 10/3



総資産 8.4兆円
株主資本 2.23兆円
Net DER** 0.92

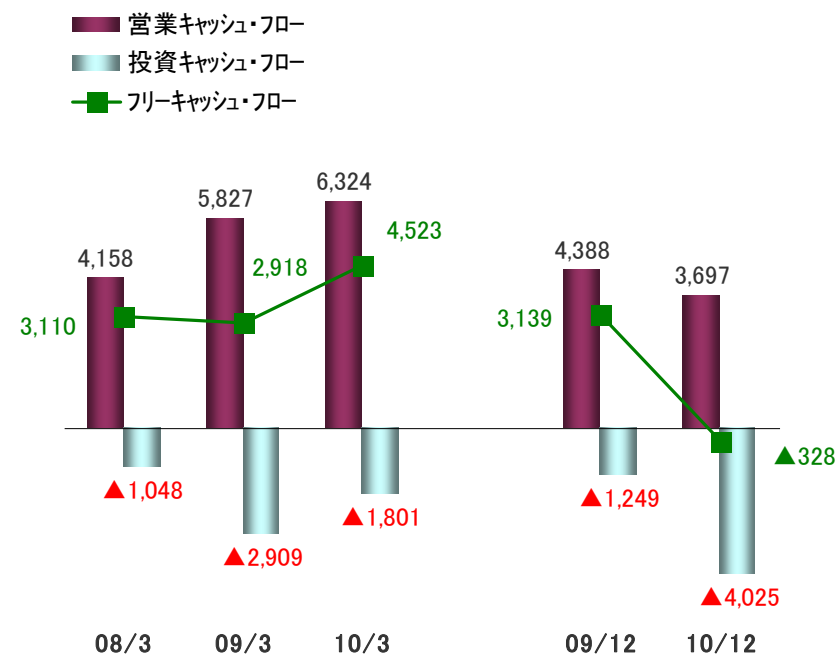
10/12



総資産 8.6兆円
株主資本 2.28兆円
Net DER** 0.87

キャッシュ・フロー

(億円)

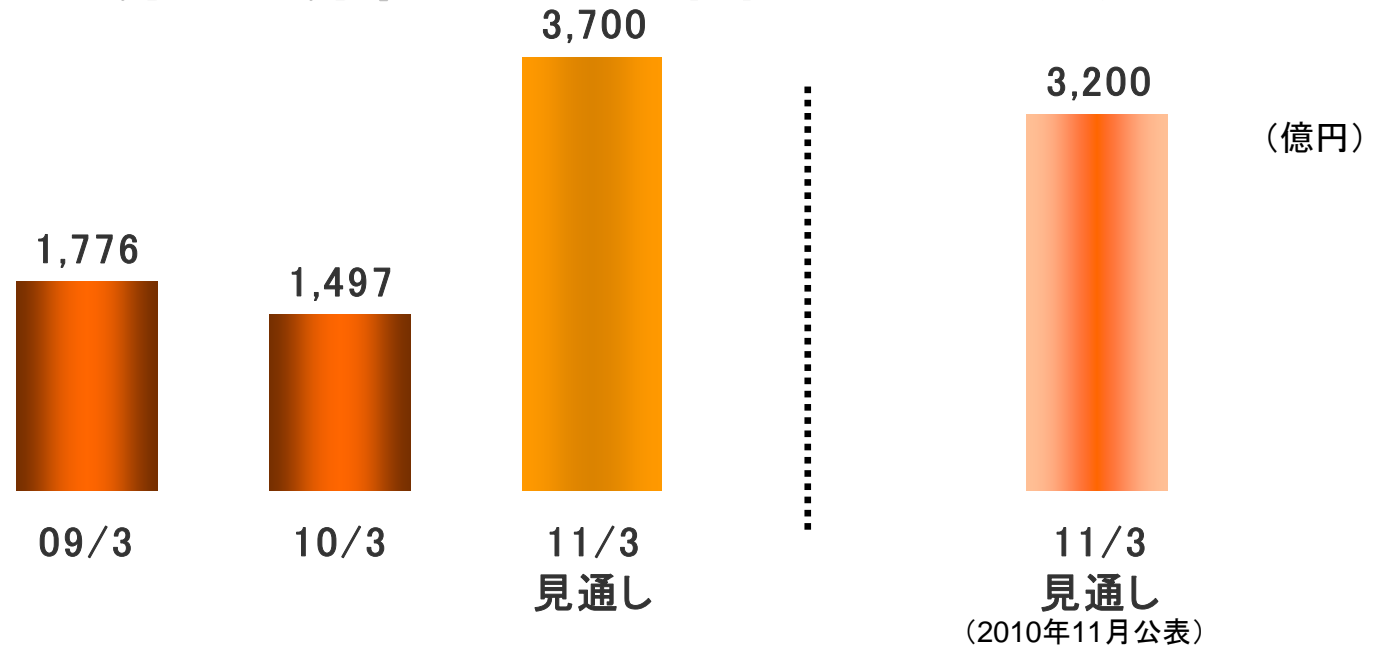


(*) 有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

(**) Net DERは有利子負債から現金及び現金同等物、定期預金を控除したNet有利子負債を株主資本で除した比率

年間見通し

2011年3月期当期純利益年間予想(修正)



11/3 上半期 (実績)	11/3 下半期 (11月予想)
79	76
137.4 ^(*3)	(*2)
9.6	8.0
88	80
79	80
50	50

11/3 見通し (上・下平均値) (2010年11月公表)	価格変動の11/3期 当期純利益への影響額		11/3 見通し (3Q累計+4Q平均値) (2月公表)
78	市況商品	原油/JCC ^(*1)	80
(*2)		鉄鉱石	(*2)
8.8(US\$/lb)		ニッケル ^(*4)	9.5
84	為替 (*5)	米ドル	85
80		豪ドル	80
50		伯リアル	50

11/3 3Q累計 (実績)	11/3 第4四半期 (予想)
79	82
137.0 ^(*3)	(*2)
9.6	9.0
86	80
80	80
49	50

(*1) 当社業績に反映される加重平均油価。油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されます。11/3期には14%が6ヶ月遅れで、62%が3ヶ月遅れで、24%が遅れ無しで反映される予定です。

(*2) 11/3期通期並びに下半期予想策定時の前提価格は非開示。

(*3) 11/3期上半期実績欄には2009年12月~2010年5月、11/3期3Q累計実績欄には2009年12月~2010年8月の業界紙複数社によるスポット指標62%Fe CFR North Chinaの平均値を参考値として記載。

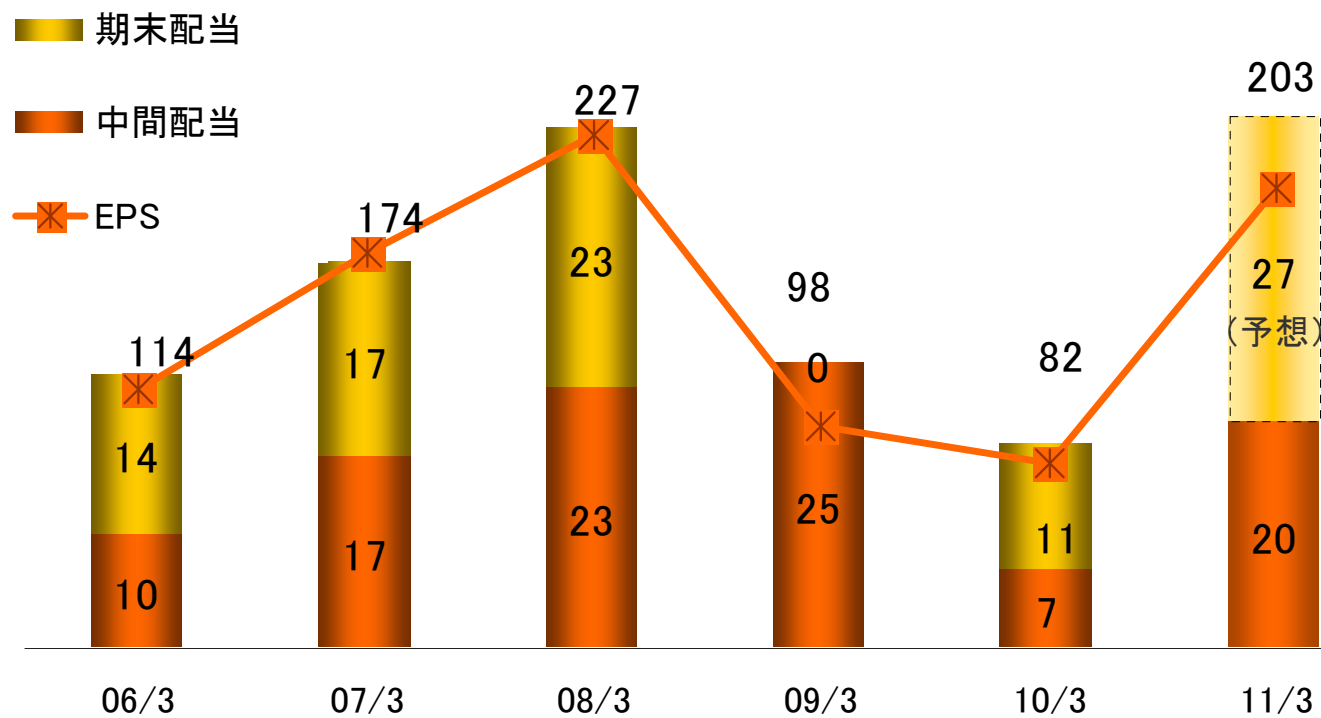
(*4) ニッケルはLMEの2010年1月~9月平均。

(*5) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期純利益に対する感応度。金属資源・エネルギー生産事業における契約通貨の米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動を含みません。

2011年3月期 株主還元策

連結配当性向 23%

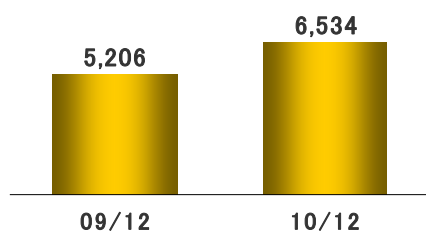
(円/株)



補足説明

主要PL項目(9カ月間累計)の前年同期比増減

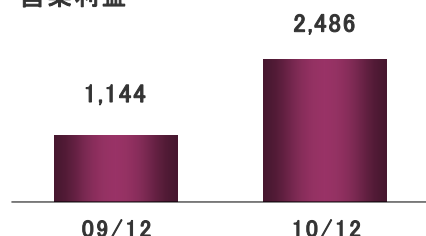
売上総利益 (億円)



売上総利益 6,534億円 前期比 +1,328億円 (+26%)

- ✓ 鉄鉱石価格上昇により、豪MIOD +643億円、豪MII +165億円 夫々増益
- ✓ 油価上昇と生産量増加により三井石油開発 +158億円、MEPME(蘭)+92、MEPAU(豪)+47
- ✓ 市況堅調 三井石油 +84、石炭価格上昇 豪MCH +79億円
- ✓ 海外セグメントが化学品、鉄鋼製品分野を中心にそれぞれ増益
- ✓ 食料・リテール、CS・情報産業、化学品、物流・金融市場が夫々減益

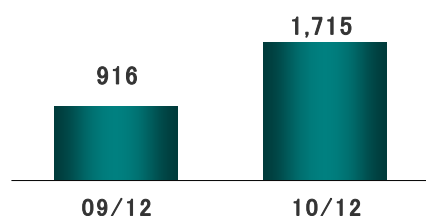
営業利益



営業利益 2,486億円 前期比 +1,342億円 (+117%)

- ✓ 売上総利益増

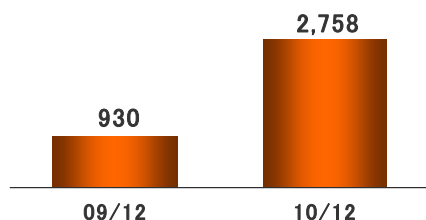
持分法損益(税効果前)



持分法損益 1,715億円 前期比 +799億円 (+87%)

- ✓ 鉄鉱石価格上昇及び出荷量増により伯Valepar +288億円増益
- ✓ 鉄鉱石価格上昇により豪Robe River Mining Company +190億円増益
- ✓ 油価上昇に伴うLNG価格上昇により、豪JAL-MIMI増益
- ✓ 銅価格上昇によりチリ銅鉱山コジャワシ +52億円増益
- ✓ 電力デリバティブ契約などに係る時価評価損益悪化により 海外発電事業 ▲120 億円減益
- ✓ 前年同期にももしもホットライン株式評価損▲73億円計上

四半期純利益



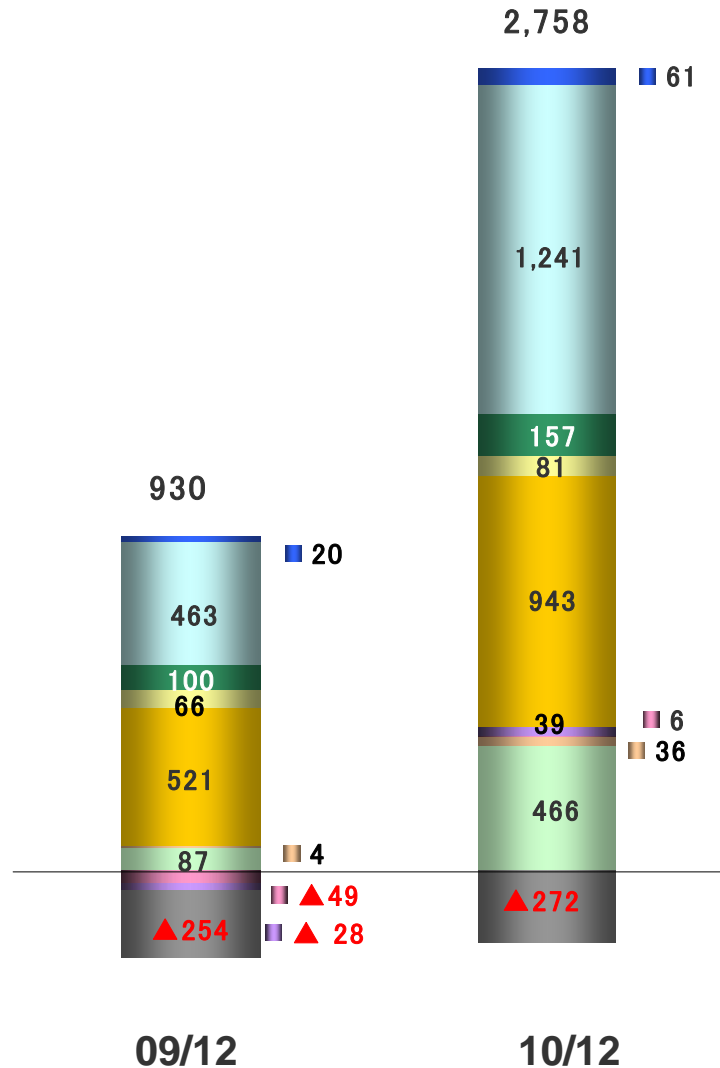
四半期純利益 2,758億円 前期比 +1,828億円 (+197%)

- ✓ 利息収支(税前)+91億円負担減
- ✓ 受取配当金(税前)+117億円増: LNGプロジェクト(中東、赤道ギニア、及びサハリンⅡ)+89億円増
- ✓ 有価証券評価損(税前)+312億円改善
 - ・当期(税前): Valepar優先株 ▲31億円
 - ・前期(税前): 日本航空優先株式 ▲200億円、セブン&アイ・ホールディングス ▲151億円
- ✓ 関連会社からの受取配当金受領に伴う未分配利益に係る繰延税金負債の取崩し(当期)約180億円、(前年同期)約240億円

セグメント別純利益(9ヶ月間累計)の前年同期比増減

(億円)

前年同期比 主要な増減要因(数値は税後ベース)



金属資源 1,241億円 (前期比 +778億円、+168%)
 ・鉄鉱石価格上昇に伴い、豪MIOD +451億円、豪MII +63億円増益(本セグメント持分)
 ・鉄鉱石価格上昇と出荷数量増により、伯Valepar +170億円増益*

エネルギー 943億円 (前期比 +422億円、+81%)
 ・油価上昇に伴うLNG価格上昇により豪JAL-MIMI増益
 ・石炭価格上昇により豪MCH +48億円(本セグメント持分)
 ・豪MEPME +46億円、豪MEPAU +36億円、並びに三井石油開発増益
 ・市況好調により三井石油 +44億円
 ・受取配当金(中東、赤道ギニアLNG、サハリンⅡ) +71億円増益

海外 466億円 (前期比 +379億円、+436%)
 ・米州:関係会社の業績回復を主因に +190億円改善
 - 前年同期の棚卸資産評価損の反動及び価格上昇・数量増により米Champions +44億円増益
 - 前年同期に米AFC、米SunWizeにおいて暖簾減損を計上
 ・EMEA:前年同期 MRCE無形固定資産・暖簾減損の反動を中心に +43億円改善
 ・アジア・大洋州:豪MIOD(20%)、豪MII(20%)、豪MCH(30%)における出資持分相当の増益を主因に +146億円増益

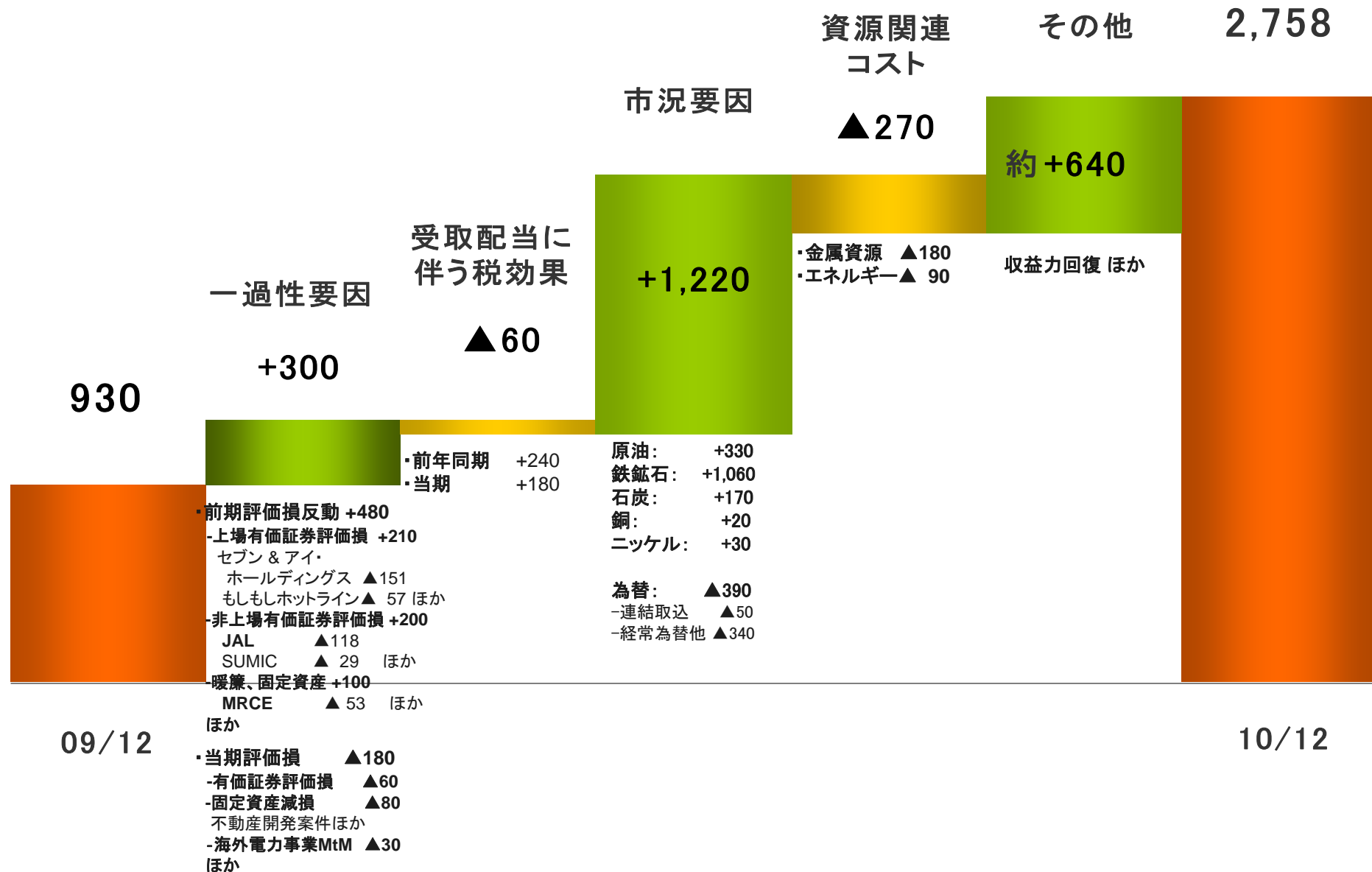
機械・プロジェクト 157億円 (前期比 +57億円、+57%)
 ・プロジェクト:
 - 海外発電事業が▲67億円減益(本セグメント持分*)
 電力デリバティブ契約などに係る時価評価損益 ▲58億円悪化
 - 前年同期 固定資産・暖簾減損 蘭MRCE ▲40億円(本セグメント持分)
 ・自動車:新興国を中心に自動車関連事業は堅調に推移
 ・船舶:前期 有価証券評価損 日本航空優先株式 ▲118億円
 株式評価損 LNG船用船会社 ▲23億円
 ・関連会社からの受取配当金受領に伴う未分配利益に係る繰延税金負債の取崩し ▲40億円減

*親会社における未分配利益に関わる税効果控除後

■ 鉄鋼製品 ■ 化学品 ■ 食料・リテール ■ CS・情報産業 ■ 物流・金融市場 ■ その他、調整・消去

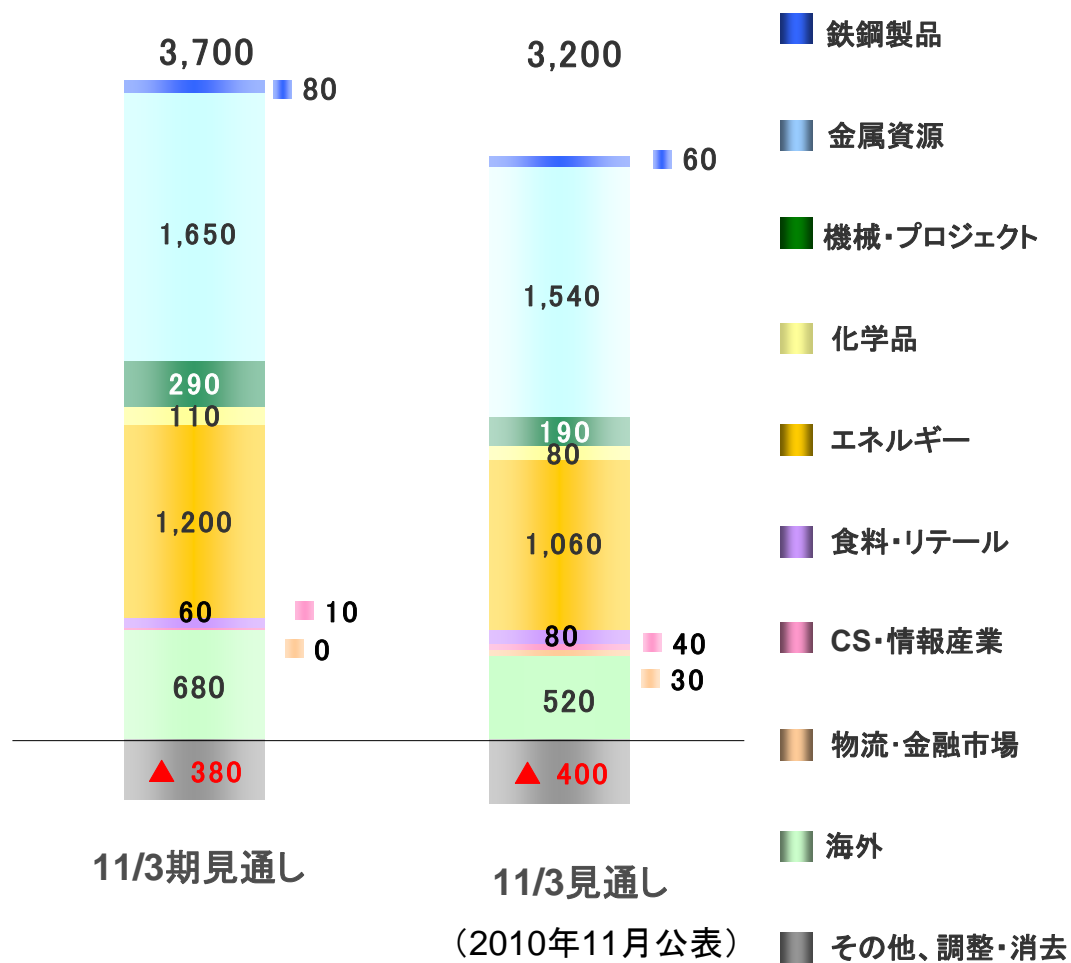
前年同期比の増減要素

(億円)



オペレーティングセグメント別当期純利益予想(修正)

(億円)

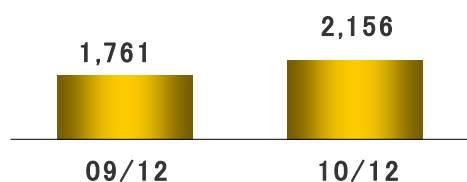


Appendix

(億円)

主要PL項目(3ヶ月間)の前年同期比較

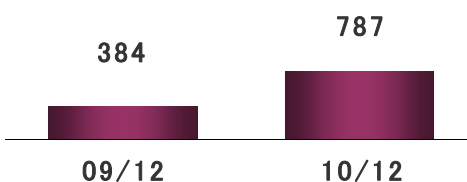
売上総利益



売上総利益 2,156億円 前年同期比 +395億円 (+22%)

- ✓ 鉄鉱石価格の上昇により、豪MIOD +204億円、豪MII +59億円夫々増益
- ✓ 油価上昇を主因に三井石油開発+44億円
- ✓ 石炭価格上昇により MCH +41億円
- ✓ 保有鉱区の現状回復費用負担増 豪MEPAU ▲27億円

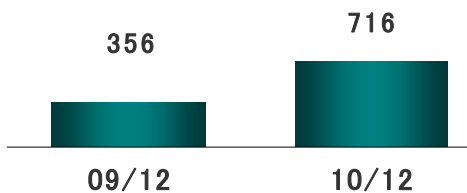
営業利益



営業利益 787億円 前年同期比 +403億円 (+105%)

- ✓ 売上総利益増

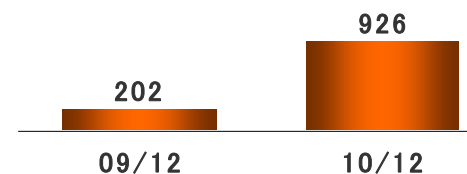
持分法損益(税効果前)



持分法損益 716億円 前年同期比 +360億円 (+101%)

- ✓ 鉄鉱石価格の上昇及び数量増を主因に伯Valepar +172億円増
- ✓ 鉄鉱石価格の上昇によりRobe River Mining Company +52億円増益
- ✓ 油価上昇に伴うLNG価格上昇により豪JAL-MIMI増益
- ✓ 電力デリバティブ契約などに係る時価評価損益悪化を主因に海外発電事業 ▲42億円減益
- ✓ 前年同期に株式評価損 LNG船用船会社 ▲39億円
ニューカレドニアのニッケル精錬事業への投資会社 SUMIC ▲29億円を計上

当期純利益

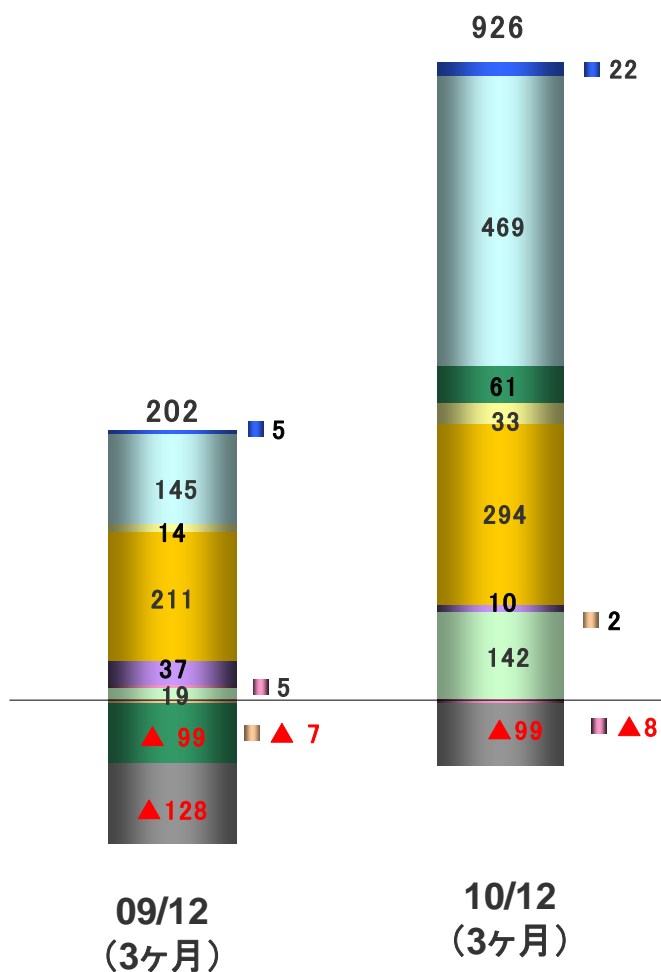


当期純利益 926億円 前年同期比 +724億円 (+358%)

- ✓ 受取配当金(税前)+49億円増: LNGプロジェクト(中東、赤道ギニア、及びサハリンII)+43億円増
- ✓ 有価証券評価損(税前)+193億円改善
・前期(税前)日本航空優先株式 ▲200億円
- ✓ 固定資産評価損(税前)+50億円改善
・前期(税前) 蘭MRCE ▲29億円
- ✓ 暖簾減損 +65億円改善
・前期(税前) 蘭MRCE ▲31億円、米SunWize ▲29億円

セグメント別四半期純利益(3ヶ月間)の前年同期比増減

(億円)



前年同期比 主要な増減要因(数値は税後ベース)

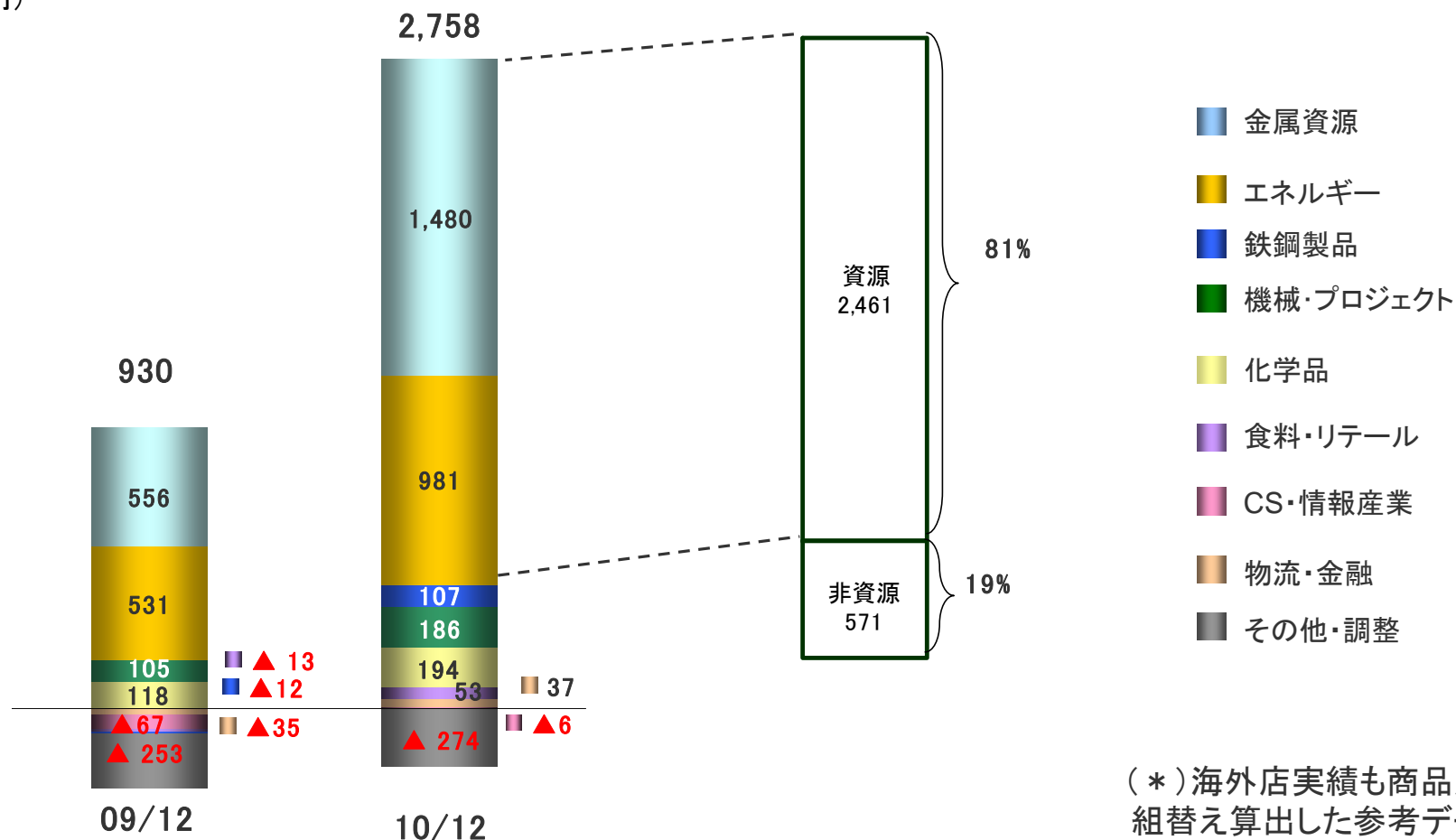
- 金属資源 469億円 (前年同期比 +324億円、+223%)**
 - ・鉄鉱石価格上昇に伴い、豪MIOD +150億円、豪MII +22億円増益(本セグメント持分)
 - ・鉄鉱石価格の上昇及び出荷数量増を主因に伯Valepar +101億円増益*
 - ・前年同期 株式評価損 ニューカレドニアのニッケル精錬事業への投資会社 蘭SUMIC ▲29億円
- 機械・プロジェクト 61億円 (前期比 +160億円、+162%)**
 - ・プロジェクト:
 - 海外発電事業 ▲24億円減益(本セグメント持分*)
 - 電力デリバティブ契約などに係る時価評価損益悪化
 - 前年同期 固定資産・暖簾減損 蘭MRCE ▲40億円(本セグメント持分)
 - ・自動車:新興国を中心に自動車並びに建機・鉱山機械関連事業が堅調に推移
 - ・船舶:前年同期 有価証券評価損 日本航空優先株式 ▲118億円
 - 株式評価損 LNG船用船会社 ▲23億円
- エネルギー 294億円 (前年同期比 +83億円、+39%)**
 - ・石炭価格上昇により豪MCH +25億円増益(本セグメント持分)
 - ・油価上昇に伴うLNG価格上昇を主因に、豪JAL-MIMI増益
 - ・保有鉱区のコスト負担増により豪MEPAU ▲23億円減益
 - ・受取配当金(中東、赤道ギニアLNG、サハリンⅡ) +46億円増益
- 海外 142億円 (前年同期比 +123億円、+647%)**
 - ・米州:関係会社の業績回復を主因に +37億円改善
 - 前年同期に米SunWizeにおいて暖簾減損を計上
 - ・EMEA:前年同期 MRCE無形固定資産・暖簾減損の反動を中心に +25億円改善
 - ・アジア・大洋州:豪MIOD(20%)、豪MII(20%)、豪MCH(30%)における出資持分相当の増益を主因に +61億円増益

*親会社における未分配利益に関わる税効果控除後

■ 鉄鋼製品 ■ 化学品 ■ 食料・リテール ■ CS・情報産業 ■ 物流・金融市場 ■ その他、調整・消去

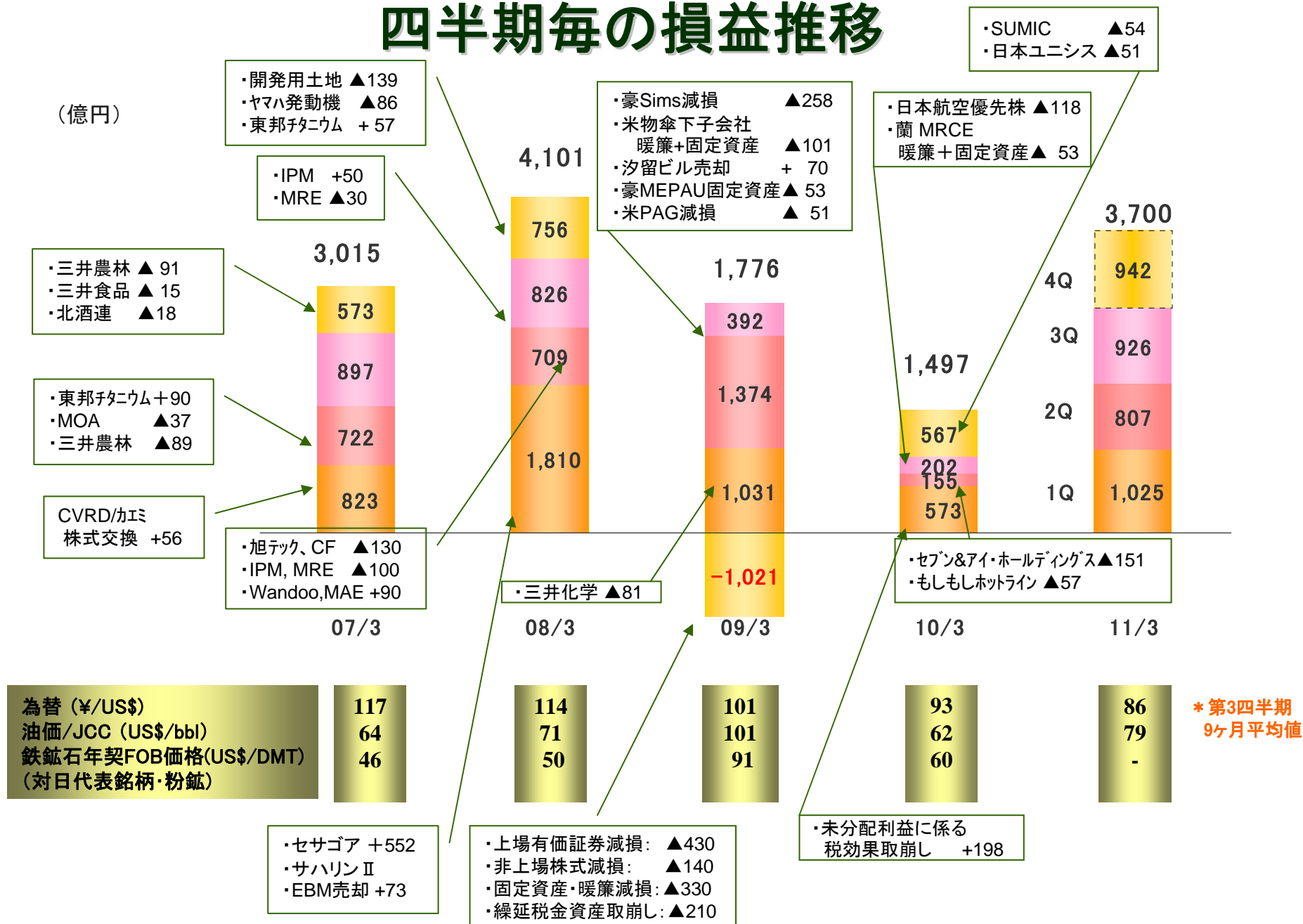
全世界ベース商品別当期純利益(参考値)

(億円)



四半期毎の損益推移

(億円)



2011年3月期主要な市況指標の前提値・感応度

11/3 上半期 (実績)	11/3 下半期 (11月予想)
79	76
137.4 ^(*3)	(*2)
9.6	8.0
88	80
79	80
50	50

11/3 見通し (上・下平均値) (2010年11月公表)	価格変動の11/3期 当期純利益への影響額		11/3 見通し (3Q累計+4Q平均値) (2月公表)
78	市況 商品	原油/JCC ^(*1)	15 億円 (US\$1/バレル)
(*2)		鉄鉱石	21 億円 (US\$1/トン)
8.8(US\$/lb)		ニッケル ^(*4)	15 億円 (US\$1/ポンド)
84	為替 (*5)	米ドル	9 億円 (¥1/US\$)
80		豪ドル	21 億円 (¥1/豪ドル)
50		伯リアル	7 億円 (¥1/リアル)

11/3 3Q累計 (実績)	11/3 第4四半期 (予想)
79	82
137.0 ^(*3)	(*2)
9.6	9.0
86	80
80	80
49	50

(*1) 当社業績に反映される加重平均油価。油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されます。11/3期には14%が6ヶ月遅れで、62%が3ヶ月遅れで、24%が遅れ無しで反映される予定です。

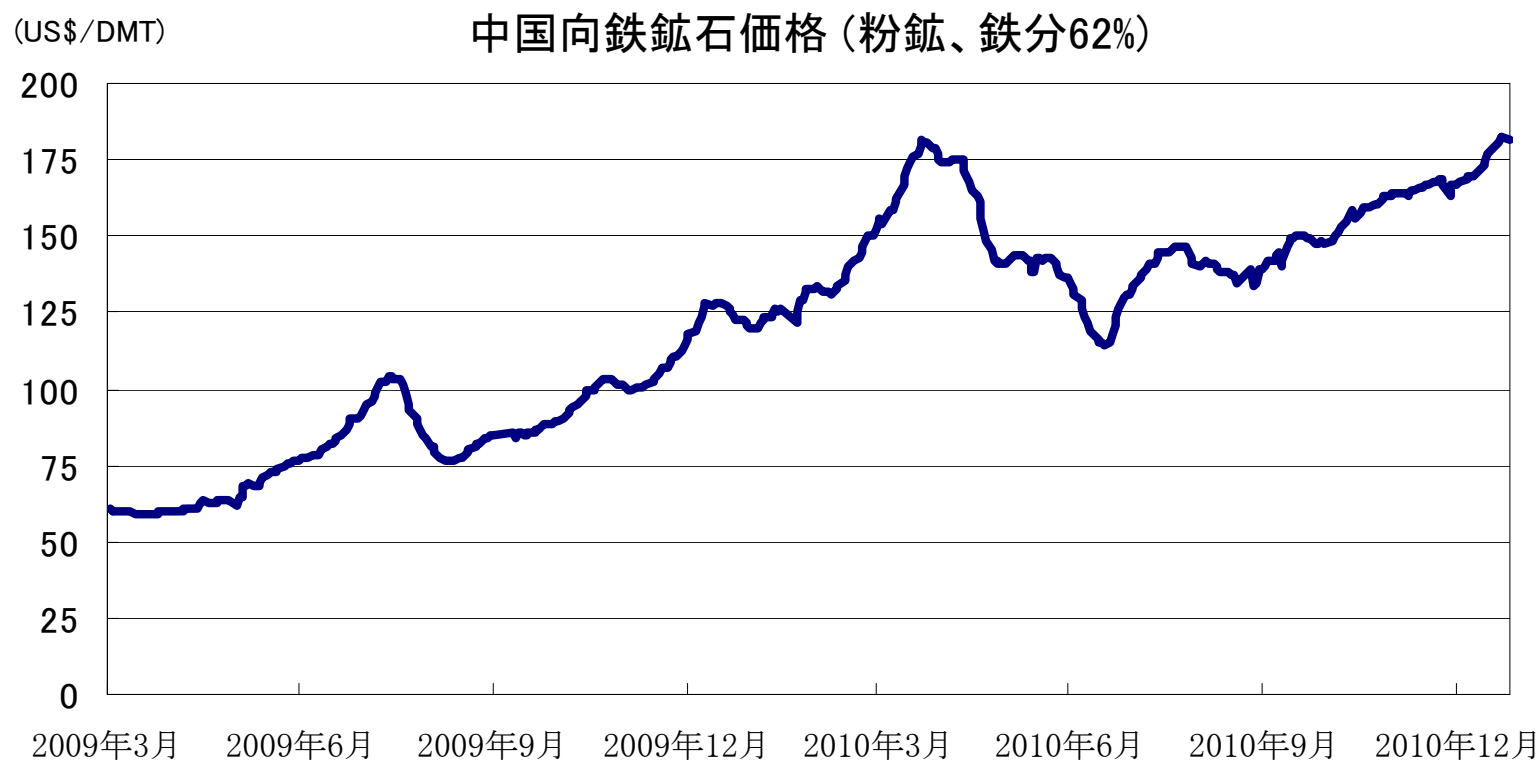
(*2) 11/3期通期並びに下半期予想策定時の前提価格は非開示。

(*3) 11/3期上半期実績欄には2009年12月~2010年5月、11/3期3Q累計実績欄には2009年12月~2010年8月の業界紙複数社によるスポット指標62%Fe CFR North Chinaの平均値を参考値として記載。

(*4) ニッケルはLMEの2010年1月~9月平均。

(*5) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期純利益に対する感応度。金属資源・エネルギー生産事業における契約通貨の米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動を含みません。

中国向け鉄鉱石スポット価格推移* (参考値)



*業界紙複数社によるスポット指標平均
(62% Fe CFR North China)

当社持分権益出荷量実績

	10/3 1Q	10/3 2Q	10/3 3Q	10/3 4Q	10/3	11/3 1Q	11/3 2Q	11/3 3Q*	11/3 3Q累計
鉄鉱石(百万トン/年)	10.2	10.2	10.8	10.4	41.6	10.6	10.7	11.9	33.2
MIOD	6.9	6.9	6.5	6.3	26.6	6.5	6.4	7.0	19.9
MII	0.7	0.7	0.7	0.7	2.8	0.8	0.8	1.0	2.6
Vale**	2.6	2.6	3.6	3.4	12.2	3.3	3.5	3.9	10.7
石炭(百万トン/年)	2.0	2.2	2.3	2.4	8.9	2.0	2.5	2.3	6.8
MCH	1.8	1.9	2.0	2.1	7.8	1.8	2.1	2.0	5.9
BMC**	0.2	0.3	0.3	0.3	1.1	0.2	0.4	0.3	0.9
原料炭	1.4	1.6	1.5	1.9	6.4	1.4	1.9	1.7	5.0
一般炭	0.6	0.6	0.8	0.5	2.5	0.6	0.6	0.6	1.8
銅(千トン/年)***	13.8	13.3	13.2	18.1	58.4	14.3	13.6	15.1	43.0

*石炭は速報数値 ** Vale及びBMCは1Q:1-3月、2Q:4-6月、3Q:7-9月、4Q:10-12月の実績 ***Vale出荷分の5%含む

当社持分権益生産量

当社持分権益生産量

	09/3期 実績	10/3期 実績	11/3期 (予想)	12/3期 (予想)	13/3期 (予想)
原油・ガス 合計	156	188	217	226	244
原油 (千bbl/日)	89	85	90	84	80
ガス (千bbl/日換算)	67	103	127	142	164
鉄鉱石 (百万トン/年) *	38.9	41.0	47	52	53
石炭 (百万トン/年)	8.6	8.9	9	10	12
銅 (千トン/年) *	60.1	59.3	65	64	66

(2010年5月公表)

*Vale生産分の5%含む

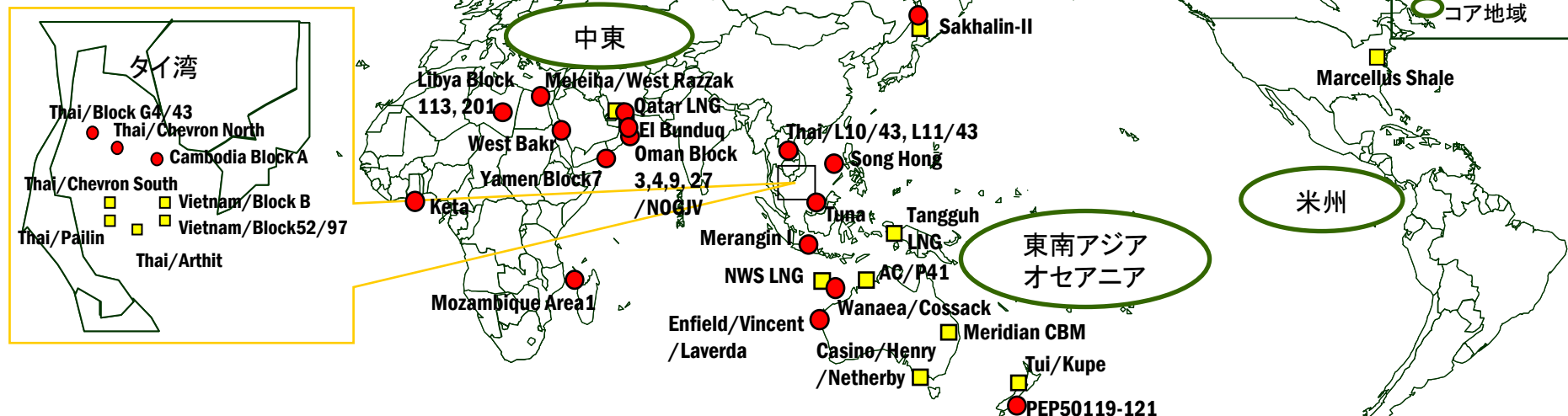
主要鉱物資源権益一覽

2010年12月末現在



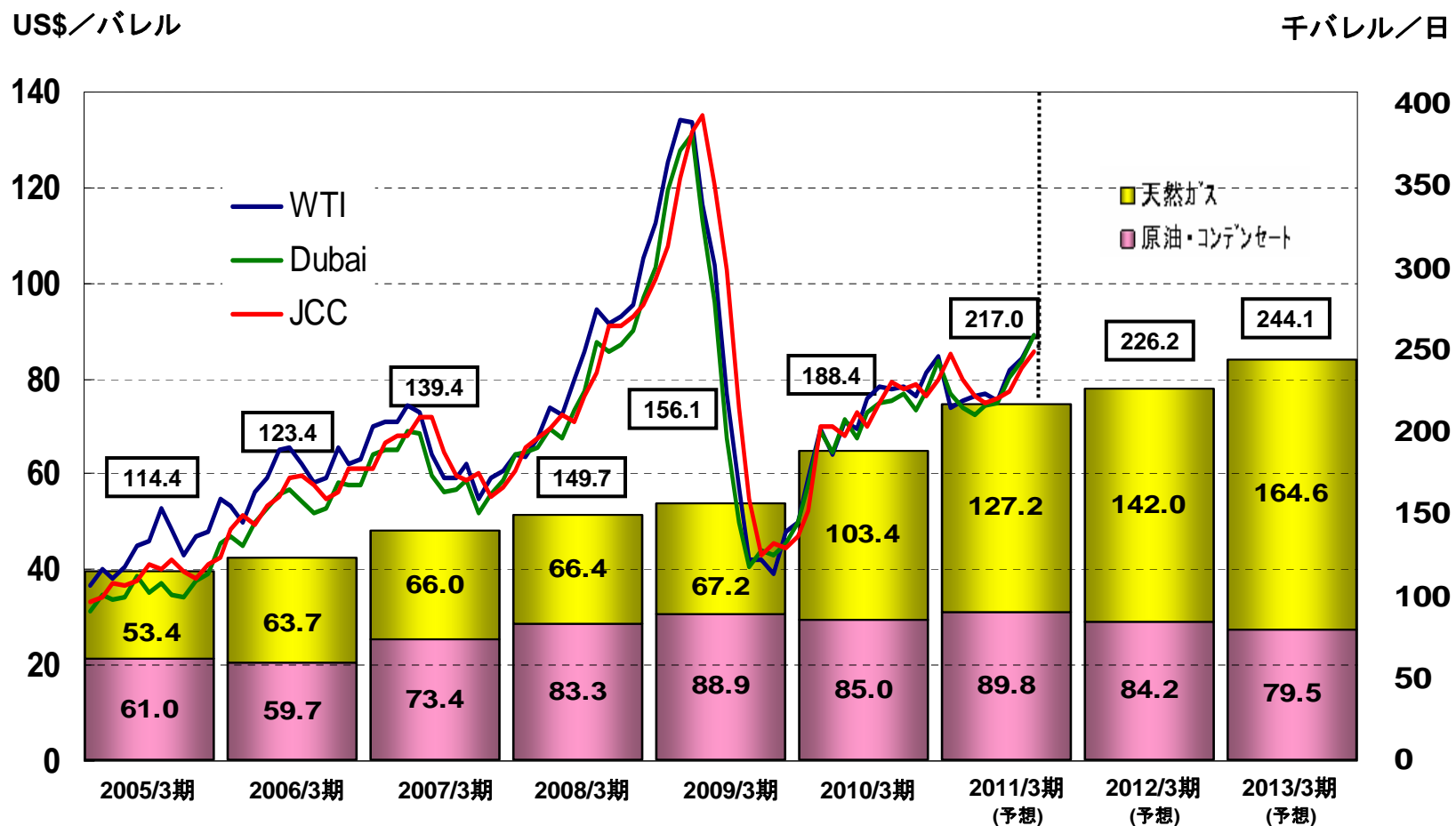
2010年12月末現在

地域別主要原油・ガス上流権益一覧



	探鉱段階						開発段階		生産段階
	入札	探査	解析	試掘	評価	基本設計	投資決断	開発開始	生産開始
天然ガス	ベトナム: Block B, 52/97(MOECO) * 豪州: AC/P41(MEPAU) エジプト: Meleiha Deep (MEPME)						米国: Marcellus Shale * (MEPUSA) 豪州: Meridian CBM * (MEPAU)		ロシア: Sakhalin II LNG (Sakhalin Energy) 豪州: NWS LNG (JAL-MIMI), Casino / Henry / Netherby (MEPAU) 米国: Marcellus Shale (MEPUSA) カタール: Qatargas 1 LNG (MILNED) Qatargas 3 LNG (Mitsui Qatargas 3) インドネシア: Tangguh LNG (KGペラウ/KGウイリアガール) タイ: Chevron South (MOECO), Pailin (MOECO), Arthit (MOECO) ニュージーランド: Kupe (MEPAU) オマーン: NOGJV (MEPME)
原油	豪州: Laverda (MEPAU) * オマーン: Block 3, 4 (MEPME) * ニュージーランド: PEP50119-121 (MEPAU) タイ: Block L10/43, L11/43(MOECO) カンボジア: Block A (MOECO) インドネシア: Merangin I, Tuna (MOECO) ベトナム: Song Hong (MOECO) イエメン: Block7 (MEPME) リビア: Block 113, 201 (MOECO) モザンビーク: Area1 (MEPMOZ) ガーナ: Keta (MEPGK)						* 既発見未開発鉱区		オマーン: Block 9, 27 (MEPME) カタール/UAE: El Bunduq (MOECO) 豪州: Wanaea Cossack (JAL-MIMI), Enfield, Vincent (MEPAU) ニュージーランド: Tui (MEPAU) タイ: Chevron North (MOECO) ロシア: Sakhalin II (Sakhalin Energy) エジプト: Meleiha / West Razzak (MEPME) West Bakr (MOECO)

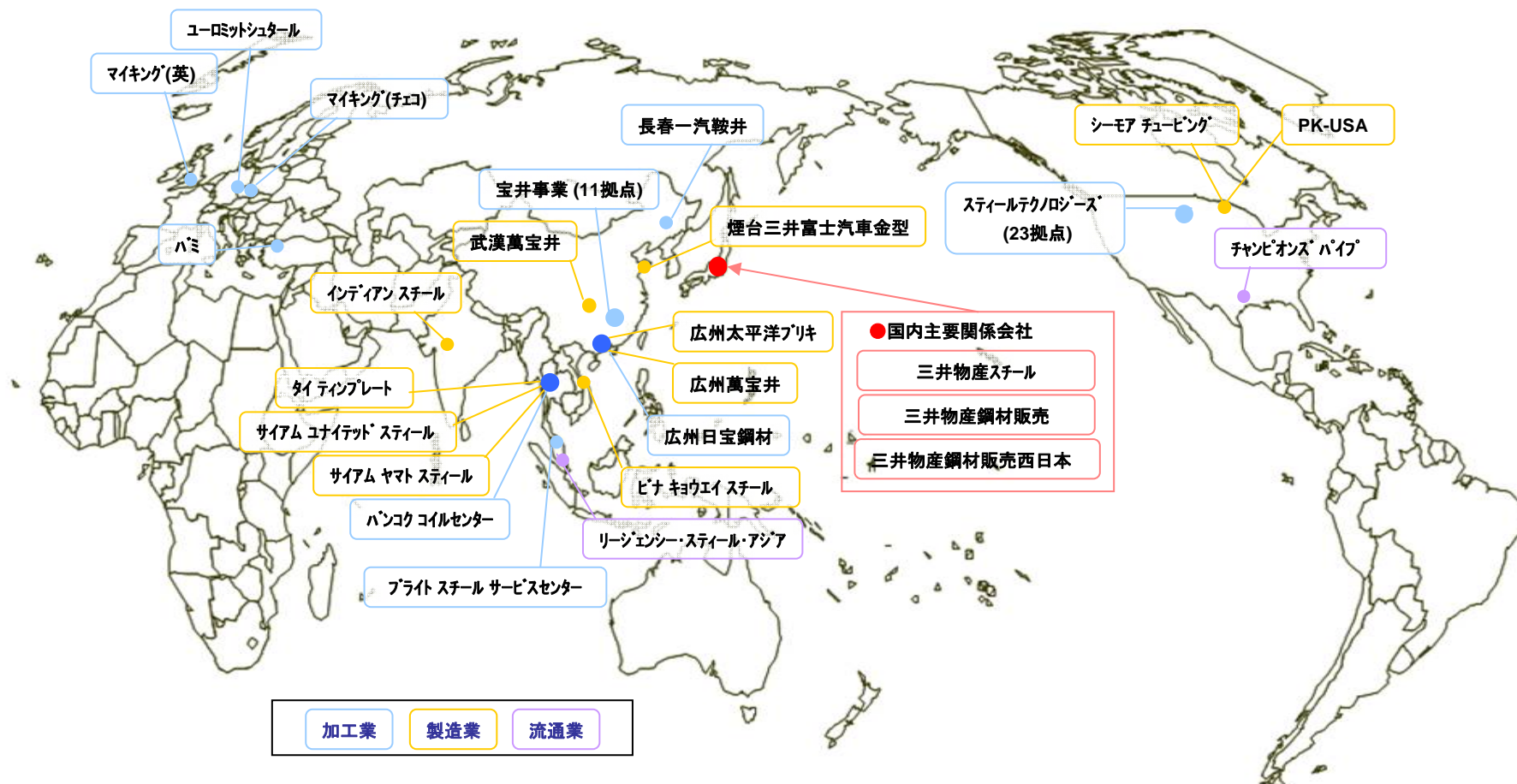
原油・ガス生産量推移



(生産量推移は2010年5月公表値)

鉄鋼製品の事業投資

2010年12月末現在

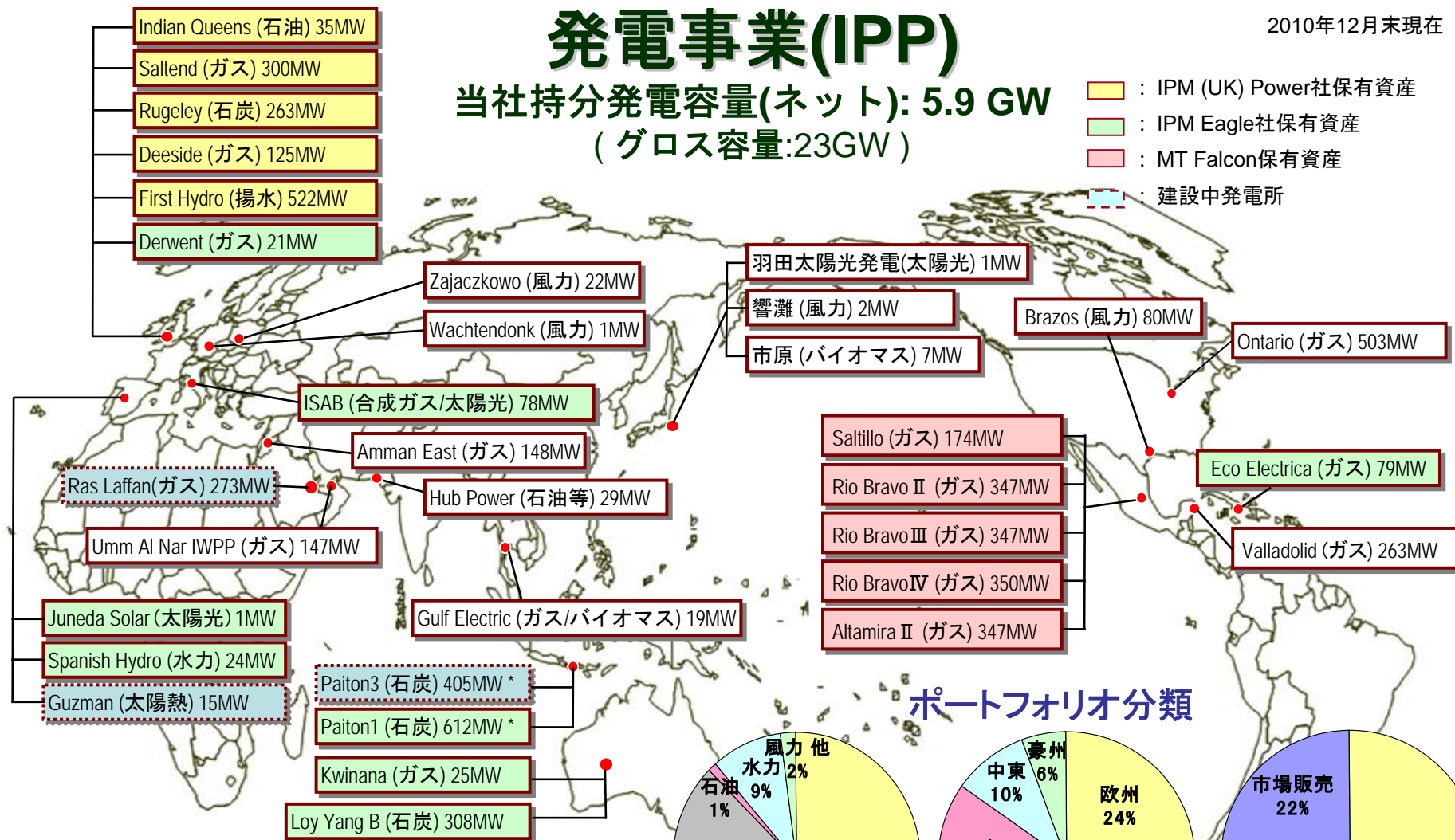


2010年12月末現在

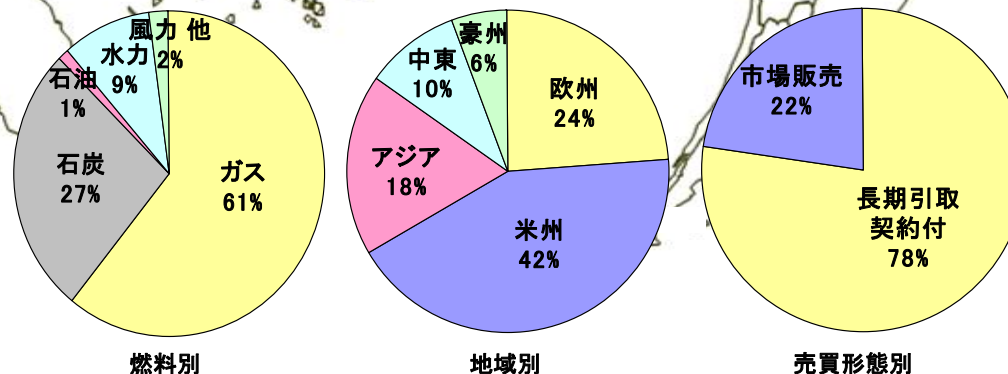
発電事業(IPP)

当社持分発電容量(ネット): 5.9 GW
(グロス容量:23GW)

- : IPM (UK) Power社保有資産
- : IPM Eagle社保有資産
- : MT Falcon保有資産
- : 建設中発電所



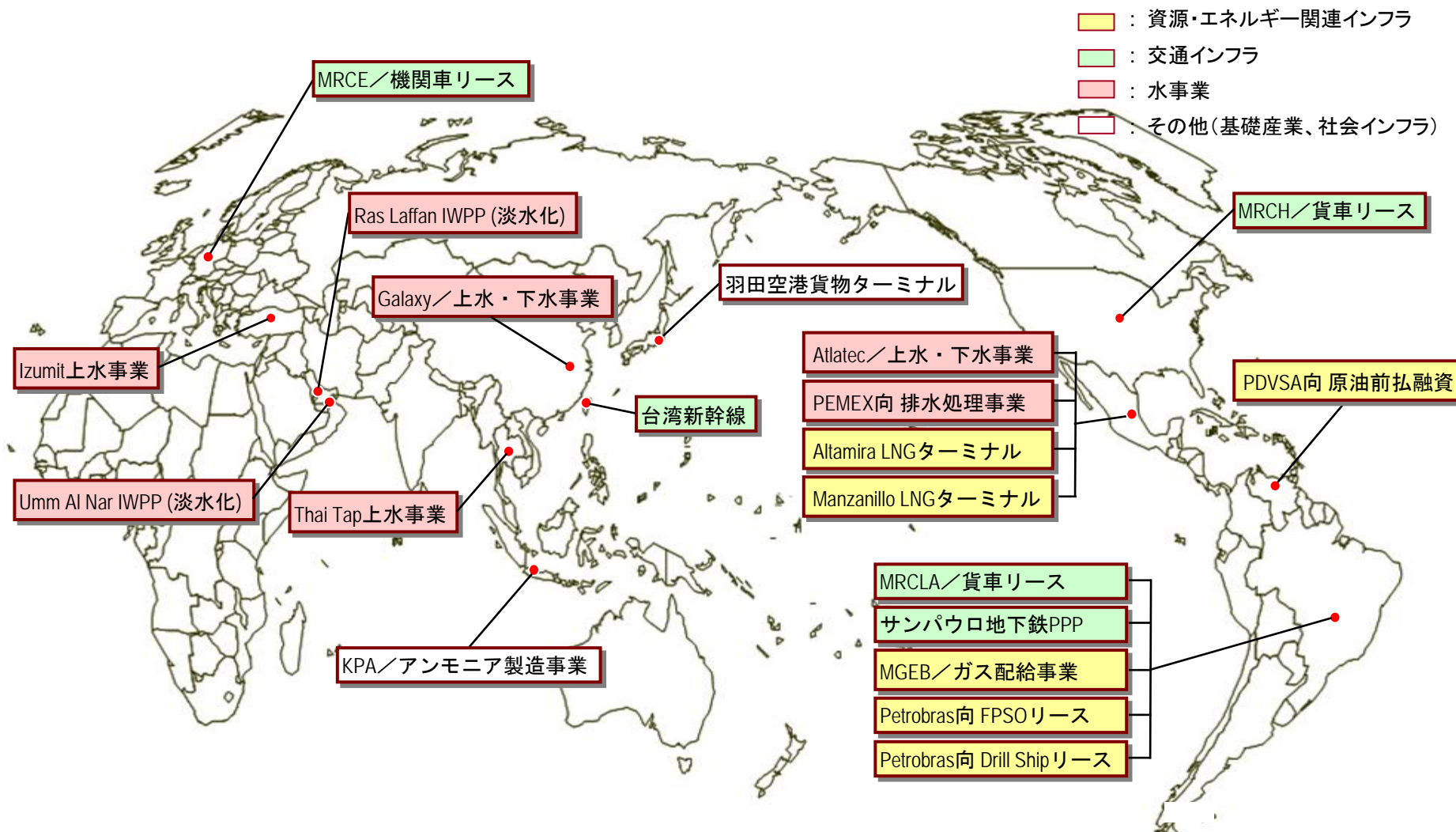
ポートフォリオ分類



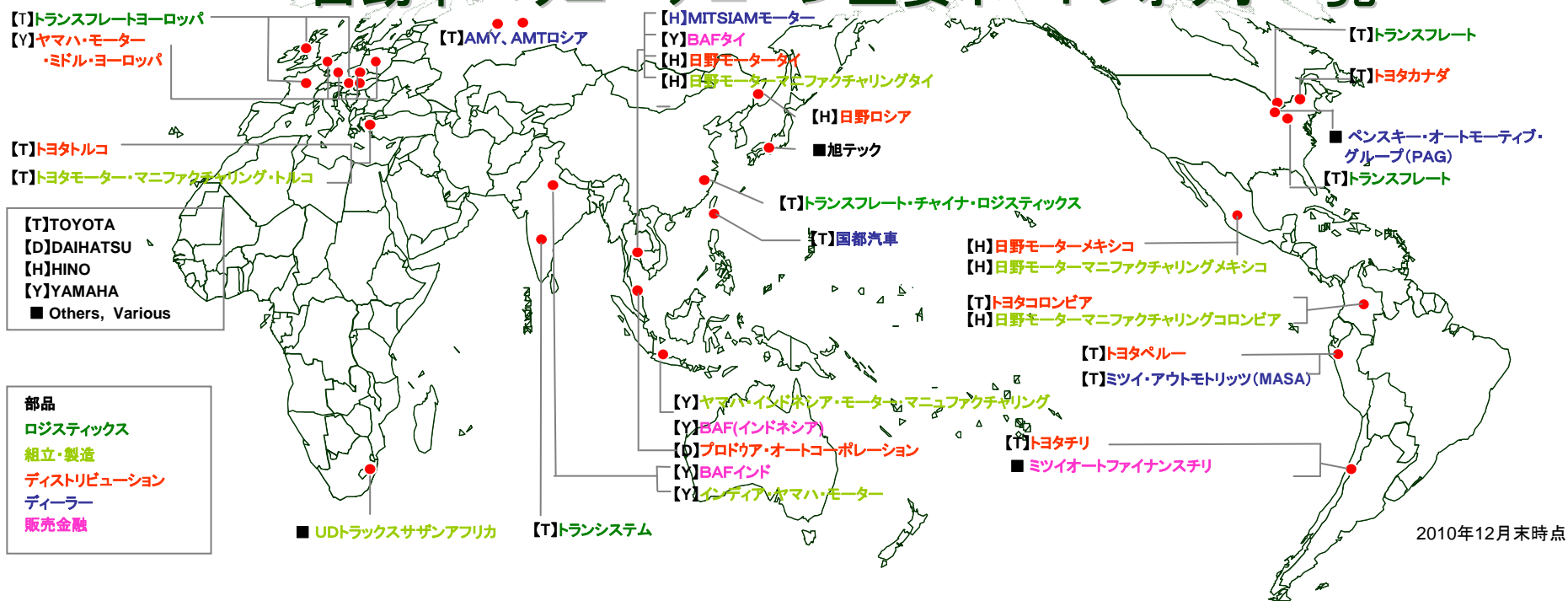
* Paiton : 三井保有持分 49.7%
(直接保有 36.3% + IPM Eagle経由保有13.4%)

発電以外の主要インフラ案件

2010年12月末現在



自動車バリューチェーン主要ポートフォリオ一覧



領域	EMEA地域	アジア・大洋州・国内地域	米州地域
川上	部品	日本、中国	
	ロジスティクス	インド、中国	米国、カナダ
	組立・製造	トルコ	タイ、マレーシア、インドネシア、インド
川中	ディストリビューター	タイ、マレーシア、フィリピン	カナダ、チリ、ペルー、メキシコ、コロンビア
川下	ディーラー	ロシア	米国、ペルー、チリ
	販売金融	インドネシア、タイ、インド	チリ、ペルー

食料・リテール本部の主な海外投資案件

2010年12月末現在

- 資源領域
- 素材領域
- 製品・流通領域
- リテール領域

